

# 島根県看護協会隠岐支部便り

～令和5年2月発行～

コロナウイルス感染症と闘いの日々が続いている中、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
令和4年度第2回の看護協会隠岐支部便りをお届けします。



## 研修会報告①

研修会『若年層への意思決定支援について』

講師：隠岐病院 緩和ケア認定看護師 杉原 幸子 氏

10月22日（土曜日）に隠岐の島町役場市民ホールにおいて開催しました。昨年度に引き続きZoomでの聴講ができるよう調整し、島前地区からも参加がありました。

講師の杉原氏には、特に、若年性がん患者のターミナル期の関わりについてご講演いただきました。参加者からは、「ターミナル期の関わりについて、残される家族の事や、病気への向き合い方など本当に多様だと感じた」「症状コントロールは意思決定するにあたり大切だと学んだ」などの感想が聞かれました。

事例を交えたご講演で、参加者は時折涙を拭いながら貴重なお話を伺わせていただく研修となりました。



## 研修会報告②

研修会『高齢者の意思決定支援』

講師：島根県立中央病院 老人看護専門看護師 立原 怜 氏

1月14日（土曜日）に隠岐の島町役場市民ホールをメイン会場としたZoomによる研修会を開催しました。職場や自宅などからのZoom聴講や、会員以外にも町内の福祉施設の看護職や島前地区からの参加もありました。

講師の立原氏には、高齢者の終末期における本人や家族の意思決定について、認知症や身寄のない高齢者の事例を交えながら、わかりやすくご講演いただきました。

参加者からの感想には「一人ひとりの生活歴や家族背景に合わせて、できるだけ本人や家族が後悔の無いような意思決定支援をしたい」「本人や家族が“よかった”と思える事がいかに大事か改めて感じた」などが聞かれました。意思決定をする本人や家族に、看護職として、しっかり寄り添う大切さを再認識する機会となりました。



## まちの保健室

コロナ禍で恒例のイベントが中止を余儀なくされる中、今年度の支部活動も多少制限されることとなりましたが、実施できる方法を模索しながら活動してきました。

11月27日に開催された「隠岐の島町いきいき祭」では、感染対策の基本である“手洗い”について、手洗いチェッカーを用いて啓発を行いました。ウェットティッシュや携帯用手指消毒剤を活用していただき、手洗いができない時も手を清潔に！と、感染予防を働きかけました。

また、島前地区では図書館にマスクとウェットティッシュのセットを置き、幅広く地域の方に「看護」について知ってもらえるようPRしました。

コロナ禍の厳しい状況が続く中、今後も知恵を出し合って、活動していきたいと思います。

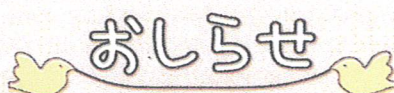


## 進路ガイダンス

11月29日、島根県立隠岐高校で開催された進学ガイダンスに参加してきました。

当日は、将来看護職を目指している高校生14名の参加がありました。

若手看護師の体験談については、例年看護師の体験談のみでしたが、今回は保健師の体験談も盛り込みました。看護師のみならず、保健師の人材不足もある中で保健師の仕事について興味を持ってもらう大変良い機会となりました。島の保健医療を守るために、是非看護職として隠岐で一緒に働きましょう！と伝えてきました。



### キャリアナースの登録をぜひ！

キャリアナースは看護協会会員専用のWEBサイトです。登録すると会員情報の確認や変更、研修受講履歴の閲覧が可能になります。また、文献検索や各種資料など看護業務に役立つ魅力的なコンテンツもあります。登録がまだの方はぜひ登録を！

### 会員募集中！

日本看護協会は、看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）が自主的に加入し運営する日本最大の看護職能団体です。47都道府県看護協会と連携して活動する全国組織で、隠岐支部の会員は現在117名です。機関紙発行やイベントでのPR活動、研修会等を開催しています。会員は随時募集しています。詳しくはお問い合わせください。

～お問い合わせ先～ 隠岐の島町役場保健福祉課 石井（☎08512-2-8577）